



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2012年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コヒーアワ : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫

◎石叫■

「君への誓い」①

『君への誓い』(The Vow) (フオレスト・ブックス) という本は、映画化され、全米にもテレビ放映され、多くの人々を感動させた。先日、教会図書館でそれを見つけた僕は一気に読んでしまった。何度も胸に迫るものを感じながら…。

この本はクリキットとキムという夫婦の愛の軌跡である。クリキットは南加にあるスポーツ・ウェアの事務員で、夫のキムはニューメキシコ州の大学野球部の監督をしていた。彼らは一九九三年九月にフエニックスの教会で結婚した、ところがそれから十週間も経たないうちに二人とも交通事故に遭い、妻は何日も生死をさまよう重症を負った。誰しもが彼女は助からないと思ったほどひどいものだった。彼自身も重傷を負い、鼻はちぎれ、肋骨骨折をし、内臓も内出血の恐れがあった。とてもすぐに退院できる状態ではなかったのだが、それでも妻の搬送されたアルバカーキの病院に父のドライブで駆けつけたのだった。敬虔なクリスチャンであった彼らのための祈りはすぐにも友人たちに伝えられた。事故から五日目には危機を脱出できたので生命維持装置を外したが、昏睡状態は続いていた。記憶は徐々に戻りつつあり、キムが「愛しているよ」と言うと、彼女も同じように応えるのだった。しかし、医師に言わせると、それは彼女がキムを夫として分かって言っているのではなく、ただの言葉の反応として言っているだけだということに次第に回復してゆく状況だったので、ある日、療法士が厳密な検査をすることになった。もちろん、キムも同席した。彼女は現在の居場所も、母の名も、父の名も、しっかりと応えることができた。そこで肝心の「君のご主人の名は？」と聞くと、「結婚…してない」と言う。療法士はもう一度聞いた。「いや、君は結婚しているよ」。彼女は眉をひそめて「トッド？」(それは前の恋人の名前)。「クリキット、よく考えて。君のご主人の名前は？」「だから、結婚は…してない」。キムは失意のどん底に落ちていった。

事故から一年半経った頃だった。それまでクリキットがキムと結婚していたという事について、彼女は絶えず友人たちや家族から教えられていたし、結婚式のビデオや新婚旅行の写真も何度も繰り返して見ていた。そのような中でキムは少しずつ、この生活がいつか覚める悪夢ではなく、新しい現実なのだということを受け入れざるを得なくなっていた。追い討ちをかけるように離婚をほめかす人もいた。相手が脳の損傷を追った場合、離婚の確立は八〇〜九〇%だという。そんなお互いの関係はもうすさみきってしまった(続く)。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は一九七七年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は一九二一年に創立され、現在は日英両語合わせますと二千名を越える会員になります。

私たちの教会は一八世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、三世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白といたします。

